

鎌倉時代から宿場町として栄え、手つかずの自然が広がる町田市小野路町。岡田邸はそんな小野路の傾斜地にあり、北側の鎌倉古道が静かに時を刻んでいる。散歩が好きで、自然をこよなく愛す岡田夫妻は小野路のロケーションに一目惚れして土地を購入した。

「風が抜けて、山並や竹林、鳥空、星が楽しめ、友人が集い寛げる家。」そんな夢を抱いての家づくりだった。

市道から階段を上ると、大きな囲炉裏が出迎える。ここは、主人のリクエストで、囲炉裏に火をかけ来客を待ちわびる時間も楽しそうだ。引き戸の玄関を入ると、そこはリビングへ続く階段があるオープンな空間。鎌倉古道越しの借景が美しい和室が寝室になる。2階

へ上がると、四方の窓から緑が飛び込んでくる。隣の家が気にならない位置に作った四方の窓でリビングは自然の大ギャラリーになる。東側に居た鳥が飛び立ち、北側の窓辺で羽を休めたと思ったら西側の庭の木に飛び移る。鳥たちの気ままな足跡も家の中から簡単に追いかける。

「蝉の幼虫が上ってきてふ化する時は息をのんでずっとその様子を記入していました。夜にはミミズクの鳴き声が聞こえてきて、ふと見ると隣の屋根の上にシルエツトが見えるんです。」花々に珍しい蝶々が飛んできた瞬間。見たこともない野鳥に出会えた瞬間。感動は数えきれなかった。

ロケーションは申し分なかったが敷地の西側を2m以上の範囲で縦断する擁壁上の土地をどう活かすかがポイントだった。岡田さんのイメージは、ここを庭として建物と一体となった使い方ができること。そこで考えられたのは、西側に設けた南北2つのテラスだ。使いみちが殆どないと言われた擁壁上のスペースを2つのテラスからアクラス可能にし、これらをつなぐことで回避性を持たせている。空中を回避しながら庭づくりを

# 緑と風と太陽の恵みがふり注ぐ あるがままの自然を切り取った家

どんな土地でも長所と短所が混在するもの。土地の特徴を把握し、そこからイメージする。長所は磨きをかけ、短所は利点に変えていく、そんな家づくりの紹介です。



1. 向きの素材として使うことの少ない構造用合板系の勾配天井。表情豊かな木目や経年による色の変化も楽しい 2. 四方向全ての風景が美しい2階LDK 3. 庭と鎌倉古道の自然を眺めながら食事を楽しめる北側のテラス 4. 西側の擁壁。上のスペースはテラスからアクセスできる庭と畑にした 5. ロフトへ続く階段に座って庭を眺めるのも楽しい時間だ 6. 1階の和室からは借景の緑が美しい 7. 玄関は圧迫感を感じさせないストリップ階段のある和室とオープンな空間に 8. 夏ならビールを、冬なら熱燗を楽しみたい囲炉裏スペース



**株式会社 鈴木工務店**  
195-0053 東京都町田市能ヶ谷 3-6-22  
tel 042-735-5771 fax 042-735-3323  
www.suzuki-koututen.co.jp

楽しむ。その庭を眺めながらのテラスでの食事。今ではその時間が岡田夫妻の最も楽しいひと時となっている。

「クーラーはありません。夏はまわりの緑が自然のクーラーです。」オープンな空間でありながら冬でも快適に過ごせるのは、熱と空気をデザインする「OMソーラー」のお陰でもある。寒い冬でも底冷えせず、夏の夜も涼を取り込みの優れものなのだ。

場所を読み、地形を活かし、自然に寄り添うことで一体になれる家。岡田邸では今日も壮大なライブが二人を楽しませている。

